

- 第6章 環境保全への理解と取組 -

第1節 環境教育

1 学校教育

(1) 概要

高松市教育委員会は、市内の小・中学校において環境教育を推進するため「指導の重点」としてとりあげ、環境教育の指導を行っています。具体的な指導項目については、以下の3点です。

ア 様々な体験活動を通して、環境や自然に対する豊かな感性を高め、環境について理解を深める。

イ 発達段階や学年に応じて、主体的に行動する実践的な資質、能力を育てる。

ウ 家庭や地域、社会施設、関係機関との連携を図り、体験的な活動の場への積極的な参加を促す。

(2) 高松市子ども環境学習交流会の開催

地域や学校の実態や自然環境、社会環境に応じて行われている様々な環境学習の活動について、子どもたちが意見交換をしたり、環境保全にかかわる体験をしたりして、環境に対する意識を一層高め、環境教育の推進を図っています。環境学習交流会では年々、各校の取組発表の内容が充実してきており、環境教育の充実がうかがえます。

平成18年度から、市町合併に伴い学校数が増加したこともあり、高松市立の小・中学校を2班に分けて隔年での参加としました。そして、20年度は、昨年度に参加していない学校を対象に、7月24日（木）、7月31日（木）に南部クリーンセンターにて開催いたしました。2日間で、187名の児童生徒、44名の教員、43名の保護者が参加しました。

(3) 小学校社会科副読本の発行

学校教育を通してごみ処理に対する理解と正しい知識を学んでもらうことを目的に、副読本「きれいな高松に・くらしとごみ」を小学校社会科研究会所属の先生方の編集により毎年度発行し、小学校4年生の社会科の補助教材として活用しています。

(4) 水源教育の推進

中学生を対象とした「香川用水の水源巡りの旅」を実施し、香川用水および水資源に対する認識を深めています。20年度は、4月から7月にかけて18校（参加生徒数 2,953名）が参加し、池田ダム、香川用水記念公園、東西分水工、早明浦ダムを見学しました。

水源巡りの旅の後、水についてグループ別に調べ、発表会を実施するなど、総合的な学習の時間を有効に活用し、体験と調べ学習、啓発活動を一体化した環境学習を展開する学校が増えてきています。

(5) 各学校における取組

ア 香南中学校の取組

香南中学校では、第1学年の環境学習の導入として、4月に「香川用水の水源巡りの旅」に参加し、早明浦ダムや香川用水記念公園を見学して、香川県の水事情について学習しました。その後、現在どのような環境問題が起きているかを把握するために、新聞や雑誌・インターネット等から記事を集めて再構成する「環境新聞作り」を実施しました。さらに、環境問題を「大気」「水」「ごみ」の3つのコースに大別し、12のグループに分かれて、校外における体験学習を進めました。夏休みには、代表の生徒が「高松市子ども環境交流会」に参加して取組を発表し、10月の校内文化祭では、保護者や地域の方々に学習のまとめを発表しました。

また、日常活動として、生徒会を中心に様々な環境ボランティアにも取り組んでいます。

《校外における体験学習》

「大気」コース

ヒートアイランド現象について考えるグループでは、町内各所における気温測定や打ち水実験などを行い、そのメカニズムや解決方法について学習しました。主に自動車の排気ガスによる大気汚染について考えるグループでは、町内の主な道路における自動車の車種別通行台数調査や、排気ガスの成分調査などを通して、大気汚染による酸性雨や地球温暖化対策について学習しました。

「水」コース

河川の水質について考えるグループでは、町内の3つの河川での水質・水生生物調査やごみの投棄状況の調査などを通して、河川とのかかわり方について学習しました。また、湯水について考えるグループでは、高松市の干ばつの歴史調べや市水道局の職員の方へのインタビューなどを通して、水の大切さについて学習しました。



(排気ガスの検査)

「ごみ」コース

ごみ問題について考えるグループでは、町内のごみ拾いを実施し、ごみマップを作成しました。また、南部クリーンセンターにおいて、ごみの収集や分別・処理方法やリサイクル体験などを通して、快適な生活環境作りについて学習しました。



(文化祭での発表会)

この学習を通して、「環境改善への取組は、自治体や企業レベルでは具体的になってきているが、家庭や個人レベルになると、問題意識も希薄になりがちである。」という現状を知りました。また、一人ひとりの環境改善への具体的な行動こそが急務であることを知ることができ、今後の環境学習へつなげることができました。

《生徒会での取組》

ごっくりん運動

毎月5のつく日(5日・15日・25日)に地域の清掃活動(クリーン活動)を実施し、朝7時30分から20分間、生徒会の呼びかけで学校近くの公園の清掃を中心に行っています。

プルタブ・アルミ缶回収活動

7年前から、福祉施設に車いすを送ることを目標に、プルタブ・アルミ缶の回収活動を始めました。校区内の商店や公共の施設に回収箱を設置するなど、地域にも協力を呼びかけて、毎週金曜日に回収しています。現在までに550kg回収できました。もう少しで目標(800kg)達成です。

イ 二番丁小学校の取組

二番丁小学校では、ボランティア委員会(ボランティアGO)を中心に、毎週アルミ缶や牛乳パックなどの資源ごみの回収を行っています。また、花いっぱい活動など、継続した活動を日頃から全校生で行っています。さらに、5年生では、総合的な学習の時間に環境について学習し、学んだことを地域の方にも紹介して、学校、家庭、地域が一つとなって環境問題について取り組んでいます。

《ボランティア G0 委員会の取組》

毎週木曜日の朝、ボランティア G0 委員会がアルミ缶・牛乳パックの回収を行っています。本年度からは、外国の子どもたちへのワクチンになることから、ペットボトルキャップの回収も行っています。回収日の前日には全校生に呼びかけたり、ポイントカードを発行したりしています。また、給食放送の時間を利用して、各学級で持ってきた人を称えています。資源ごみの回収を続けることで、年度末には、車いすなどの福祉用具を、福祉センターや高松市立図書館、JR 高松駅等に寄贈しています。



(全校生でのアルミ缶回収)

《花いっぱい为学校づくり》

正門の花時計は、二番丁小学校の自慢の一つでした。新設統合第二小学校(仮称)建設工事のため取り除かれてしまいましたが、今も校庭には多くの花が咲いています。栽培委員会(のびのびフラワーズ)を中心に、毎週金曜日の「みどりの時間」には、全校生が花の世話をしています。鉢の植え替え、水やり、草抜き、観察と一人一人が自分の花と向き合いながら、植物の大切さを学んでいます。



(正門前の花時計)

植物は、温暖化の原因となる CO₂ を吸収してくれるので、この活動を通して、学校を美しくするだけでなく、地域から出た CO₂ も吸収し、きれいな空気の中で気持ちよく学校生活が送れています。

《サンポートを中心とした環境学習》

5年生は、総合的な学習の時間に「環境」をテーマとして学習しています。5月の校外学習では、サンポート高松にある四国電力の地域熱供給センターと朝日町の香川県環境保健研究センターを見学して、様々な環境問題やそれに対する取組を身近な地域から学ぶことができました。今は、学校の土や地域の空気、川や海の水の調査をしています。今後は、自分たちにできることを考え、実践し、地域へも呼びかけていこうと考えています。



(環境保全センターの見学)

環境に優しい取組を行うことは簡単ではありません。しかし、友だちと共に学び、地域の方と協力することで続けられているのです。こつこつと取り組んだことが喜んでもらえた時、もっとがんばろうという気持ちになります。これらの取組の成果は、二番丁小学校の自慢であり、先輩から後輩へと受け継ぐ活動の一つです。



(あったかハート贈呈式)

(6) 牛乳パックリサイクル活動

環境教育、省資源教育の一環として、平成5年度から始まり、20年度は10校で実践しました。各学校に回収ボックスを設置し、児童会や委員会等の児童が全校生に呼びかけて牛乳パックを回収し、再生されたトイレトペーパーが各校に配布されています。この活動を通して、リサイクルの意義を理解し、資源を大切に、資源を有効利用する態度が育成されています。

(7) チャレンジ! グリーン活動

香川県教育委員会が実施している「チャレンジ! グリーン活動」に参加し、資源の有効活用等に積極的に取り組む教育活動の推進を通して、よりよい環境づくりや環境の保全に配慮した望ましい行動

がとれる児童生徒の育成のために、平成14年度から行われています。

20年度は11校、20の推進グループが参加して、自主的に活動内容を考え、栽培、緑化運動、牛乳パック、プルタブ・アルミ缶の回収活動、地域清掃等の活動に取り組みました。

2 社会教育

(1) 高松エコマイスター会議

私たちを取り巻く様々な環境問題を解決していくためには、市と市民・事業者のパートナーシップを築いていくことが不可欠です。

こうしたことから、そのパートナーシップを築いていくための一つ的手段として、平成11年度からの2年間、市民の自発的な環境行動を支援するリーダーとしての役割を担うエコマイスターの養成事業を行いました。

13年4月、この養成講座の修了者が活動の輪を広げるため、自主的に集まり、高松エコマイスター会議を結成しました。

この事業活動の一環として、親子自然体験プログラム「エコマイスター自然学校」を開催しており、市民の自発的環境行動への支援事業を展開しています。



「干潟で感動体験！エコマイスター自然学校2008」

開催日 : 平成20年7月27日(日)

開催場所 : 春日川河口

参加者 : 親子15組36人

(2) 子ども農園事業の実施

子どもたちに、農作業を通じて自然にふれあえる機会を提供し、農作物を育てる喜びと、勤労の尊さを体験させる場として子ども農園事業を実施し、健康で情操豊かな子どもの育成を図っています。

平成20年度 12農園 6,924㎡

(3) 早明浦湖水祭四国の子ども交歓会

本市と高知県嶺北地域の子どもが、早明浦ダム湖畔などで交流活動を行い、水の大切さや有効利用を学ぶとともに、自然の中で友情を深め、健康で明るい子どもの育成を図っています。

平成20年度

実施日 8月21日および22日の2日間

実施場所 高知県土佐郡土佐町、長岡郡本山町、大豊町

高松からの参加者 親子20人

(4) 市民文化センターの昆虫展示室

市民文化センター内の昆虫展示室(床面積約170㎡)では、県内を中心に世界の有名な昆虫の標本3,770個体、約800種(128箱)を集め、「ふるさとの昆虫」、「昆虫の生態と分類」、「昆虫と文

化」，「カブトムシの巨大模型」，「昼と夜の樹木に集まる昆虫」の5つのコーナーを設けて展示しています。

子どもたちが，自然に親しみながら昆虫の種類や名前，生態を楽しんで学習できるよう各コーナーごとに環境写真や分布図・解説文を添えたユニークな展示方法をとっています。それは博物館などが専門的な視点で展示しているのと異なり，市民文化センターの昆虫展示室では，昆虫のくらしや生息環境が手に取るように分かるのが特徴です。特に，子どもたちに人気のある昆虫が，より身近に感じられるように，また，図鑑などを使わなくても実物と見比べながら自分で名前が調べられるように工夫し，昆虫に親しんだり，生命の大切さに気づいたり，生き物と環境について興味や関心をもてるよう工夫しています。

特に，環境の変化に伴い絶滅が危惧されている種については，レッドマークを表示するなどの工夫もしています。一方，近年の地球温暖化などによって，分布を広げ県内でもよく見られるようになった昆虫も分かりやすく展示しています。

今はよく見かける普通種の昆虫でも，いつ，いかなる事情で環境が変化して，それに適応できずに激減するかも分かりません。このため今後は，さらに郷土の昆虫資料の充実に努め，常に実態をとらえ，郷土の環境保全と市民意識の高揚にも配慮していきたいと考えています。

平成20年度 入館者数 17,211人



昆虫展示室の様子

(5) こどもエコクラブ

こどもエコクラブ事業は，環境を大切に思う心を育て，環境に対する人間の責任と役割を理解し，環境保全活動に参加する態度および環境問題解決に役立つ能力が育成されることを目的として，平成7年度から環境省が日本環境協会に委託し，将来を担う子ども達が主体的に行う環境学習および環境保全に関する活動を支援する事業です。

本市では，クラブの登録受付，キット配布等全国事務局との連絡を行っており，20年度の登録状況は次のとおりです。各々のクラブでは創意工夫ある自主的な活動のほか，全国事務局や市，民間企業の主催による行事に参加しています。

登録クラブ数および会員数

	高松市	香川県	全国
クラブ数	7	15	4,126
会員数	181	645	184,712

(平成21年3月31日現在)

登録状況

クラブ名	会員数	サポーター数
香西っ子エコクラブ	113	4
シオン・エコサイエンスクラブ	11	2
M2ガールズ	2	1
ニコチアナクラブ	2	1
高松市立東植田小学校	46	20
ふくだフレンズエコクラブ	2	2
さぬきこどもエコクラブ	5	2

(平成21年3月31日現在)

第2節 環境保全活動

1 環境プラザ

高松市環境基本条例および高松市環境基本計画に基づき、環境に関する情報の提供ならびに環境学習および環境負荷を低減させるための体験・実践活動の場として、また、環境の保全および創造について市民の自発的な活動の支援・促進のための施設として、「高松市環境ステーション(仮称)」の整備を検討するため、平成13年7月27日に、学識経験者、事業者、市民団体の代表者等による高松市環境ステーション(仮称)整備検討委員会を設置しました。その後、整備検討委員会で検討を重ね、高松市環境ステーション(仮称)整備検討結果報告書が14年9月30日に提出されました。

その報告書を受けて、だれもが親しみやすく集まりやすい市の中心部に近く、自転車や公共交通機関の便も比較的良好、旧「高松市リサイクルプラザ(7年6月23日開設/西宝町一丁目13-30)」を整備拡充し、事業の効果的な展開を図ることとなり、名称を「高松市環境プラザ」と変更して、15年10月11日にリニューアルオープンしました。

(1) 施設の概要

所在地 高松市西宝町一丁目13番30号 TEL 087-861-6660 FAX 087-861-7600

敷地面積 706㎡ 建築面積 320㎡ 延床面積 568㎡

構造 鉄骨軽量気泡コンクリートパネル張 一部2階建

総事業費 1億6,101万1,660円

開館時間 10:00 ~ 18:00(土・日は17:00まで)

休館日 月曜日、祝日、年末年始

太陽光発電設備 効率向上追求型 容量10kW

(15年度NEDO太陽光発電新技術等フィールドテスト事業採択)

(2) 事業内容

事業名	事業内容
出前講座	学校，コミュニティセンター活動，環境関連イベント等への要望に応じて出前教室を開催
環境学習講座	環境問題全般の基本的知識の習得を目的とした講座を実施
リサイクル教室	事前の申し込みにより，プラザ内での各種リサイクル教室を開催
展示コーナー	地球規模の環境問題からエコロジーな生活の知恵まで学べるパネルを展示 粗大ごみ等の中から使用可能なものを展示
情報コーナー	環境に関する図書・ビデオ・DVDの閲覧・貸出，全国自治体の資料の閲覧，パソコンを使った各種情報の検索など
交流コーナー	環境ボランティア団体の取組および団体の紹介，情報交換交流の場を提供
啓発コーナー	環境に関する各種研修会，環境学習講座，リサイクル工作教室等を実施
不用品交換情報ボード	譲りたい物や欲しい物の情報を登録，提供。情報はボードに掲示，パソコンに登録するほか，「広報たかまつ」，市ホームページでも情報提供
紙すき	事前の申し込みで，紙すきの体験指導。プラザ内での指導のほか，環境関連イベントへの出展（出張指導も可）
石けん作り	廃食油を原料に，石けん作りの体験指導（出張指導も可）

(3) 年度別利用状況

区分	年度				
	H16	H17	H18	H19	H20
来館者数(人)	3,603	3,987	4,275	4,052	4,053
1日当たり来館者数(人)	12	13	14	14	14
図書・ビデオ貸出利用件数(件)	16	38	54	22	7
不用品交換登録件数(件)	975	867	1,015	1,038	1,055
出前講座件数	51	45	77	63	59
出前講座人数	1,939	2,263	2,983	2,802	2,677



高松市環境プラザ

2 南部クリーンセンター「エコホテル」利用者数(見学コースまたは学習室の利用者数)

南部クリーンセンターの管理棟には，環境問題について学習できる「エコホテル」があります。一階には紙すきや工作等を実際に体験できる「学習室」，二階にはパネルや映像を通して広く環境問題を学習できる展示ギャラリーや見学者説明室があり，見たり，聞いたり，また体験を通して，楽しみながら学習できる施設です。また，見学コースは，職員の説明を受けながら，ごみ処理施設，廃棄物再生利用施設などを見学し，実際のごみ処理方法の実情を知ってもらいます。

(単位：人)

施設	年度	H16	H17	H18	H19	H20
エコホテル		3,735	3,669	3,133	2,518	3,230

平成15年6月24日開館

3 衛生組合

(1) 目的・組織

地域住民によって自主的に組織されている衛生組合は、地域社会を住みよい快適な環境とするため、生活環境の改善および環境美化運動の推進、環境および公衆衛生思想の普及向上等に関する自主的実践活動を行っています。衛生組合の組織は、単位組合が地区ごとに地区衛生組合協議会を結成し、これら地区衛生組合協議会が連合して、高松市衛生組合連合会を結成しています。

加入世帯 単位衛生組合 地区衛生組合協議会 高松市衛生組合連合会
119,379世帯 2,674組合 46地区 (平成21年4月1日現在)

(2) 活動状況

各地区衛生組合協議会等が中心となり、地区内の道路等の空き缶など散乱ごみの清掃を実施するクリーン高松推進事業への助成のほか、次のような活動を行っています。

- ア 環境美化運動の推進
- イ クリーン高松推進事業の推進
- ウ ごみ減量運動等の推進
- エ ごみの正しい出し方の普及推進
- オ 環境衛生知識の向上等

(3) 助成措置

(平成20年度実績)

区 分	金 額 (円)
衛生組合連合会運営補助金	3,010,675
道路等散乱ごみ清掃事業等に対する補助金	13,027,950
〃 傷害保険料	1,083,230
その他	951,500
合 計	18,073,355

4 その他の活動

(1) 石けん使用推進

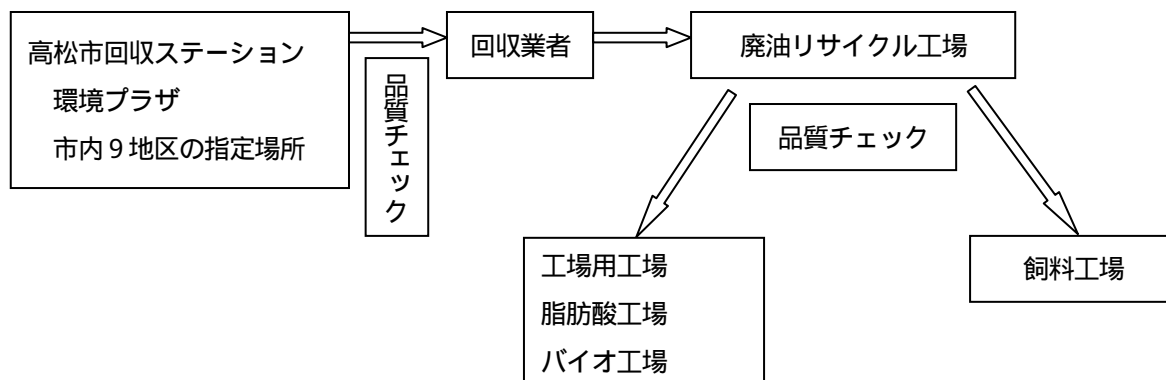
消費者団体の協力を得て、「暮らしをみなおす市民のつどい」等の啓発行事や廃食油収集事業において、石けんの適正使用についての啓発を行うなど、環境保全に対する市民の理解と協力が得られるよう努めました。

(2) 廃食油収集事業

水質汚染の防止を図るため、家庭用廃食油の収集を高松市消費者団体連絡協議会に委託し、廃食油を持参した方に洗たく用石けんを提供するとともに、適正使用の啓発に努めました。

収集場所 環境プラザ(その他, 市内9地区の指定する場所にて実施)
収集日 毎月10日(10日が土・日・月曜日および祝日のときは前後の平日に変更)
収集時間 午前10時~正午

廃食油回収フロー図



廃食油収集状況

年度	H18	H19	H20
収集量 (L)	6,606	6,228	5,328

廃食油の持参者数は年間約300人（環境プラザのみ）

(3) グリーンコンシューマー活動

「環境にやさしい買い物推進協議会（グリーンコンシューマーかがわ）」に設立時から参加し、買い物袋持参運動や環境に配慮した商品選択の推進などの啓発キャンペーンに参加しました。

(4) 使用済みわりばし回収

NPOグリーンコンシューマー高松の事業に協力し、平成20年4月より使用済み割り箸回収BOXを高松市環境プラザに常設している。NPOグリーンコンシューマー高松では、地域の祭りや各団体のイベント等において、使用済み割りばし回収BOXを設置し、地域住民による割りばし回収を行い、廃棄物の抑制、資源循環型社会の推進に努めています。

平成20年度の回収状況

年度	H20
回収量 (kg)	1,474

